

- ・ 集団討論は、平成27年7月30日～8月5日に実施。
- ・ 試験日の午前・午後（いずれかで受験）ごとに以下の課題中1題を出題。
- ・ なお、課題については、グループ内で活発に議論を進めていただくため、様々な分野から選定しています。

- 「スマートフォンの普及により、ソーシャルメディアを「ほぼ毎日」利用している青少年の割合が8割にのぼっていますが、一方でソーシャルメディアを媒体とした犯罪の被害も多く発生しています。その対策として、どのような取組が必要でしょうか。」
- 「選挙権年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が成立しましたが、若者の政治への関心を促すためには、どのような対策が考えられるでしょうか。」
- 「スマートフォンやパソコンに没頭する「インターネット依存」の中高生の割合は、大人の約4倍と言われていますが、中高生の「インターネット依存」にはどのような問題があり、その対策としてどのようなことが必要でしょうか。」
- 「平均寿命と健康寿命（※）との差が拡大した場合、医療費や社会保障費の負担の増大が懸念されますが、健康寿命を延伸するためには、どのような取組が必要でしょうか。」  
※健康寿命：平均寿命から日常生活を大きく損ねる病気やけがの期間を差し引いたもので、「健康体で生活できる寿命」のこと。
- 「熊本県においても空家対策が急務となっていますが、多くの空家が発生した場合、どのような課題があり、どのような対策が必要でしょうか。」
- 「工芸、芸能、食など、伝統的に引き継がれてきた文化の継承者不足が問題となっていますが、次世代の担い手を育成するためには、どのような対策が必要でしょうか。」
- 「ラグビーワールドカップの熊本県での開催が決定し、今後、外国人観光客が多く来訪することが予想されます。これらの観光客と交流を図り、継続して交流を深めていくためには、どのような施策を実施したらよいでしょうか。」

- 「全国で異常気象による災害が増加する中、災害に強い熊本県にするためには、どのような取組が必要でしょうか。」
- 「熊本の宝である地下水を保全し、その恵みを将来にわたって享受できるようにするためには、どのような取組が必要でしょうか。」
- 「働く女性の社会参画が加速化し、男女がともに個性と能力を十分に発揮することができる社会づくりを推進するためには、どのような取組が必要でしょうか。」
- 「産業力強化の取組として企業誘致がありますが、熊本県に誘致を進めるためには、どのような魅力をアピールしていけばよいでしょうか。」
- 「熊本県の生産農業所得は平成25年に九州1位となりましたが、全国的に農業の担い手が減少傾向にある中で、将来にわたり本県の農業を維持・発展させていくためには、どのような取組が必要でしょうか。」
- 「少子高齢化や過疎化などに伴い、買物弱者（※）が徐々に増加していると言われていますが、この問題を解決するためには、どのような対策が必要でしょうか。」
  - ※買物弱者：流通機能や交通網の変化により、食料品等の日常の買物が困難な状況に置かれている人々のこと。
- 「男女を問わず仕事と家庭生活のバランスがとれる環境づくりを進める観点から、職場における男性職員の育児参加の促進を図るためには、どのような対策が必要でしょうか。」